

平成 30 年 9 月 20 日
株式会社幹細胞 & デバイス研究所
<http://scad-kyoto.com/>

国際学会における当社技術並び製品の発表について

当社は、2018年9月30日(日)から10月3日(水)まで米国ワシントンDC(Marriott Wardman Park)にて開催される「Safety Pharmacology Society (SPS) Annual Meeting 2018」においてポスター発表を行いますので、お知らせいたします。

SPS Annual Meetingは、安全性薬理試験に関わる研究者とその関連企業が参加している大規模な国際会議であり、米国または欧州で毎年開催されています。

本国際学会におきまして、当社は、心筋細胞デバイスSCAD-M7™ cardiomyocyteの心毒性評価並びに薬理試験向けのアプリケーションについて発表します。

【学会基本情報並びに当社発表について】

公式HP: <https://www.safetypharmacology.org/AM2018/index.asp>

会期: 2018年9月30日(日)～10月3日(水)

場所: Marriott Wardman Park(2660 Woodley Rd NW, Washington, DC 20008, 米国)

当社ポスター発表:

- ・ 演題: “3D-Cell Device with Aligned and Multilayered Myocardial Tissue Derived from iPS-Cells for Predictive Drug Safety Applications” (ポスター番号 0163)

当社は、今後も技術と製品の改良に努めるとともに、研究開発成果並びに製品情報に関する情報発信を積極的に行うことで、「幹細胞がもたらす健康社会の実現」に向けた貢献を進めてまいります。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【株式会社幹細胞 & デバイス研究所(SCAD)について】

株式会社幹細胞 & デバイス研究所(Stem Cell & Device Laboratory, Inc. 略称 SCAD)は、多能性幹細胞関連技術とナノテクノロジー／マイクロエンジニアリングに強みを持つ京都大学発のベンチャー企業です。

当社は、2014年の設立以来、心筋等の細胞デバイスの開発・製造・販売を行っています。緻密に配向制御したナノファイバー上で培養することで多数の細胞を一方向に配列させ、実際の生体内組織に類似した三次元多層構造を自律的に形成させることができます。この当社のコア技術により作製される各種細胞デバイスは高い成熟性と機能性を有することが示されております。

当社は先進的な細胞製品とそれを用いた評価系の提供を通じて、世界中の病気で苦しむ人々に一刻でも早く新薬を送り届けられるように、創薬プロセスの高度化と効率化に貢献することを使命として、技術開発と事業化に取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社幹細胞 & デバイス研究所 管理部門 千秋

TEL: 075-744-1114; E-mail: scad.info@scad-kyoto.com